

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 日本出版貿易株式会社

コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 庵之下 博文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理本部長

(氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,119	2.5	45	△52.5	21	△61.1	△55	—
23年3月期第3四半期	4,993	4.3	95	547.3	56	—	△387	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 31百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △138百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△8.00	—
23年3月期第3四半期	△55.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	5,466	700	12.8	100.44
23年3月期	6,087	669	11.0	95.87

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 700百万円 23年3月期 669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,830	1.1	156	3.3	120	29.0	70	—	10.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	7,000,000 株	23年3月期	7,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	22,100 株	23年3月期	21,460 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	6,978,321 株	23年3月期3Q	6,978,540 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年3月期の連結業績予想は、「平成23年3月期 決算短信」(平成23年5月16日付)において公表した数値より変更していません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業活動の停滞や、消費の自粛などの影響がありましたが、一部回復の動きが見られるようになりました。しかしながら、原発事故による外国人旅行者の激減、欧州金融危機や歴史的な円高、株価の低迷などから、雇用不安や国内景気の先行き不透明感など、依然として厳しい状況が続いております。

このように全般的に消費が低迷する中、当社では比較的堅調な輸入部門の売上拡大を図りました。洋書事業は原発事故後の外国人居住者・旅行者の減少が止まらず、予算を下回りました。しかし、メディア事業はK-POP関連の売上とクラシックCDの売上が堅調で、予算を大きく上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は51億1千9百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。営業利益は4千5百万円（前年同四半期比52.5%減）、経常利益は2千1百万円（前年同四半期比61.1%減）となりました。四半期純損失は投資有価証券評価損5千8百万円の計上を行った結果5千5百万円（前年同四半期の四半期純損失3億8千7百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

（出版物・雑貨輸出事業）

円高と欧米の景気低迷の影響で低調に推移しました。経済産業省が中心となり進めている「Cool Japan戦略」への取組の一環として来期も引き続きJapan Expo(パリ)とHyper Japan(ロンドン)に出展予定で、出品依頼者の募集など準備作業を開始しました。英文書は円高による為替差損の影響で大幅な減益となりました。海外大学図書館、研究機関向け輸出は来年度購入予算の実施による受注回復傾向は続いておりますが、10月の急激な円高により一時的な買い控えの影響が出て低調でありました。

その結果、当部門の売上高は13億6千1百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は2千7百万円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

（洋書事業）

東日本大震災、原発事故の影響で減少した外国人居住者、留学生、旅行者数が戻らず、書店での販売は依然として低調でありました。メディア部門の協力による輸入韓国アイドル雑誌の投入などにより挽回を図っております。

その結果、当部門の売上高は13億7千1百万円（前年同四半期比10.4%減）、営業損失は1億2千3百万円（前年同四半期の営業損失8千6百万円）となりました。

（メディア事業）

ユーロ安の影響で、ユーロ圏レーベルと独占契約をしているジャズやクラシックが安定的な売上を維持しました。レディ・ガガなどの大型ヒット商品にも恵まれK-POP関連商品と共に事業部を牽引しました。ネット販売ルートが好調でヘッドフォンやスマートフォン関連の音響商品、雑貨商材も好調に推移しており業績を押し上げる要因となりました。

その結果、当部門の売上高は21億1千3百万円（前年同四半期比17.9%増）営業利益は1億4千3百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

（不動産賃貸事業）

日賃ビルのテナント退出後の新たな入居が無く売上減が継続しております。

その結果、当部門の売上高は1億1千万円（前年同四半期比14.5%減）、営業利益は4千8百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億2千1百万円減少し、54億6千6百万円となりました。

これは主に流動資産で受取手形及び売掛金が5億5千8百万円、商品が1億4千6百万円減少したことによるものであります。

大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少し、また春季販売の収束後在庫調整を図ったことにより商品が減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億5千3百万円減少し、47億6千5百万円となりました。

これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が5億7千3百万円減少、固定負債で再評価に係る繰延税金負債が5千2百万円減少したことによるものであります。

支払手形及び買掛金の減少は大学等への英語教科書の仕入代金の支払によるものであり、再評価に係る繰延税金負債の減少は平成23年12月2日に公布された改正法人税法により法人税率が変更されたため、変更後の税率で税効果を再計算したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて3千1百万円増加し、7億円となりました。

これは四半期純損失5千5百万円を計上したもののヘッジ会計を適用していたデリバティブ取引の終了により繰延ヘッジ損益の計上が減少したこと及び再評価に係る繰延税金負債で述べた税率変更による税効果の再計算により土地再評価差額金が増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より1.8ポイント増加し12.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期第3四半期累計期間の業績予想につきましては、平成23年11月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお通期の業績予想につきましては変更ありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	928,177	1,079,473
受取手形及び売掛金	2,012,363	1,454,283
有価証券	53,779	12,206
商品及び製品	977,679	831,523
原材料及び貯蔵品	80	468
繰延税金資産	26,828	26,890
その他	102,282	112,314
貸倒引当金	△3,058	△2,853
流動資産合計	4,098,133	3,514,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	317,143	302,667
土地	1,178,600	1,178,600
リース資産（純額）	22,483	23,027
その他（純額）	13,078	11,096
有形固定資産合計	1,531,305	1,515,391
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	324,564	284,357
長期貸付金	7,182	5,462
繰延税金資産	65,654	59,538
その他	53,260	74,744
貸倒引当金	△36,037	△36,725
投資その他の資産合計	414,624	387,377
固定資産合計	1,989,455	1,952,083
繰延資産		
社債発行費	209	—
繰延資産合計	209	—
資産合計	6,087,798	5,466,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,559,286	985,689
短期借入金	2,289,685	2,289,840
1年内償還予定の社債	17,500	—
リース債務	5,645	9,318
未払法人税等	9,615	1,145
前受金	305,754	334,781
賞与引当金	16,332	3,868
返品調整引当金	42,542	12,555
デリバティブ債務	44,833	3,460
その他	180,822	137,896
流動負債合計	4,472,017	3,778,555
固定負債		
長期借入金	280,925	380,930
リース債務	17,765	25,337
退職給付引当金	161,318	151,370
再評価に係る繰延税金負債	424,259	371,604
その他	62,413	57,709
固定負債合計	946,681	986,952
負債合計	5,418,699	4,765,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	△395,943	△451,817
自己株式	△5,332	△5,448
株主資本合計	224,513	168,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65,342	△60,451
繰延ヘッジ損益	△45,060	△5,389
土地再評価差額金	618,402	671,057
為替換算調整勘定	△63,415	△72,855
その他の包括利益累計額合計	444,584	532,360
純資産合計	669,098	700,883
負債純資産合計	6,087,798	5,466,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,993,673	5,119,266
売上原価	3,969,514	4,166,653
売上総利益	1,024,159	952,613
返品調整引当金戻入額	70,026	75,613
返品調整引当金繰入額	37,937	45,626
差引売上総利益	1,056,248	982,600
販売費及び一般管理費	960,268	937,033
営業利益	95,979	45,567
営業外収益		
受取配当金	7,729	8,427
違約金収入	7,171	—
その他	3,143	1,480
営業外収益合計	18,045	9,907
営業外費用		
支払利息	31,352	28,572
為替差損	23,907	4,060
有価証券運用損	1,087	673
その他	1,561	332
営業外費用合計	57,908	33,639
経常利益	56,115	21,835
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,057	—
固定資産売却益	358	241
その他	60	—
特別利益合計	2,476	241
特別損失		
投資有価証券売却損	—	162
投資有価証券評価損	434,898	58,188
固定資産除却損	5	—
倉庫移転費用	7,703	—
その他	54	11,026
特別損失合計	442,661	69,377
税金等調整前四半期純損失(△)	△384,069	△47,299
法人税等	3,560	8,573
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△387,629	△55,873
四半期純損失(△)	△387,629	△55,873

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△387,629	△55,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	272,943	4,890
繰延ヘッジ損益	△5,559	39,670
土地再評価差額金	—	52,654
為替換算調整勘定	△18,545	△9,440
その他の包括利益合計	248,838	87,775
四半期包括利益	△138,791	31,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138,791	31,901
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・雑 貨輸出事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,129,739	1,530,909	1,793,358	129,266	4,583,273	410,399	4,993,673	—	4,993,673
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	276,535	—	—	—	276,535	14,675	291,211	△291,211	—
計	1,406,274	1,530,909	1,793,358	129,266	4,859,809	425,075	5,284,884	△291,211	4,993,673
セグメント 利益又は損 失(△)	37,824	△86,264	142,350	64,412	158,322	9,352	167,674	△71,695	95,979

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△71,695千円はセグメント間取引消去△5,346千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△66,349千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結損益計 算書計上額 (注) 3
	出版物・雑 貨輸出事業	洋書事業	メディア事 業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	1,126,832	1,371,350	2,113,734	110,556	4,722,473	396,793	5,119,266	—	5,119,266
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	234,784	—	—	—	234,784	843	235,628	△235,628	—
計	1,361,616	1,371,350	2,113,734	110,556	4,957,257	397,637	5,354,894	△235,628	5,119,266
セグメント 利益又は損 失(△)	27,869	△123,306	143,494	48,125	96,183	17,092	113,275	△67,708	45,567

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△67,708千円はセグメント間取引消去△3,086千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△64,621千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社

(提出会社)の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。